10 October 2012
第702号
平成24年10月1日発行
(毎月1日発行)

# さめがわ

[広報]

Public Relations SAMEGAWA



[特別企画]

## 夢への第一歩

### 中学生の職場体験

表紙写真／中学生の職場体験（撮影：鮫川中2年・青戸悠之介さん）

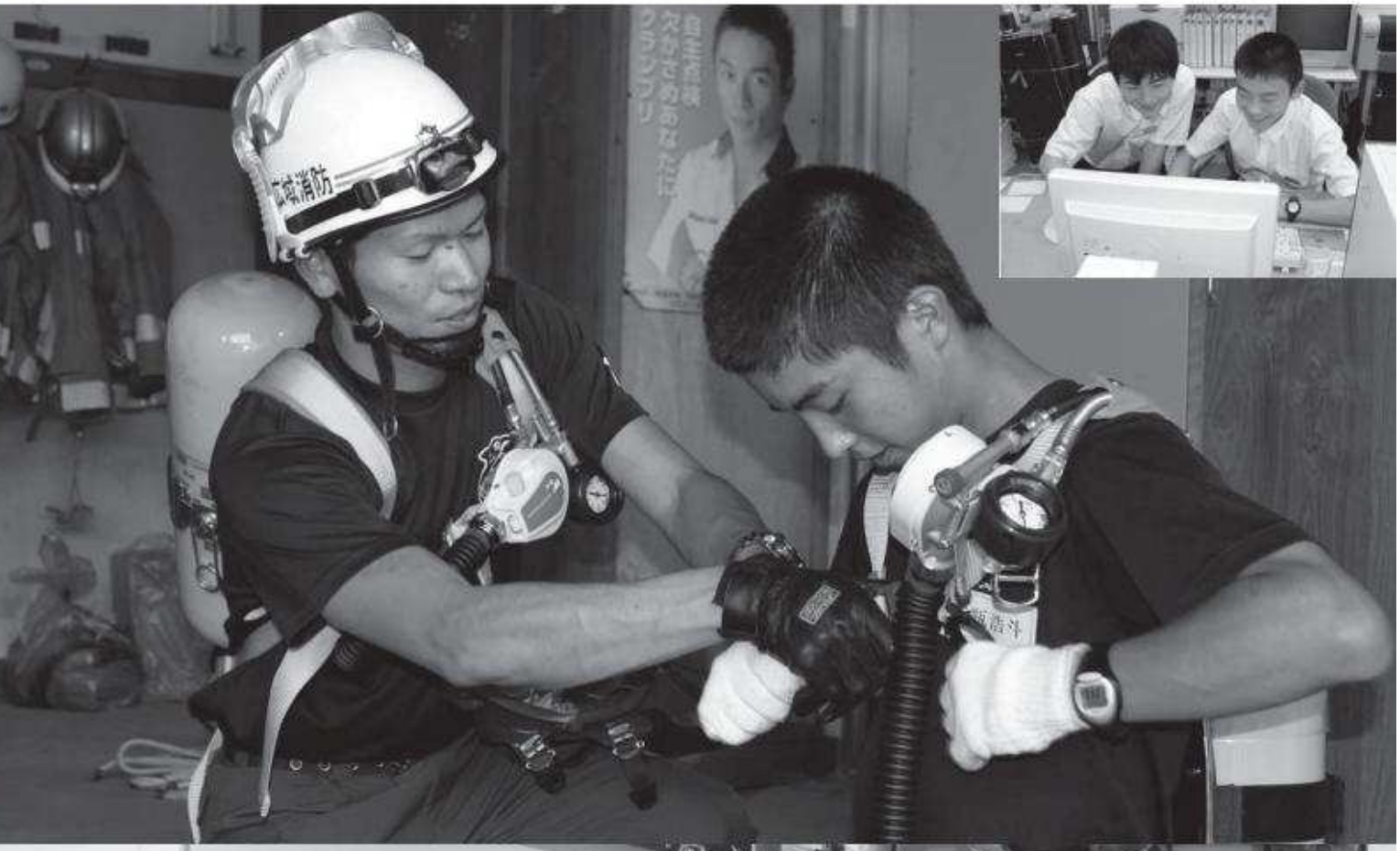
# 夢への第一歩

## 中学生の職場体験

９月11日から13日までの３日間、鮫川中学校の２年生33名が仕事について学ぶため、村内８か所の職場で職場体験を行いました。全員がこの職場体験を通して将来に役立つとても貴重な経験をしたと思います。今回は、役場で広報づくりを体験した青戸悠之介と藤田樹の２人がこの職場体験を取材し、まとめました。



このページは
僕たちが
作りました




















このページは
僕たちが
作りました

## さめがわこどもセンター



さめがわこどもセンターには、八名の皆さんが職場体験へ行きました。ここで、子どもの面倒をみる仕事の体験をしました。

運動会の練習の手伝いをしていた宗田真也くんは子どもたちに楽しく接していて、子どもたちからも特に人気がありました。

真也くんは、「ここでの目標は、子どもたちにたわむれられるようになることです」と話してくれました。

## 棚倉消防署鮫川分署

棚倉消防署鮫川分署には、四名の皆さんが職場体験へ行きました。ここで、基本を学ぶことや、訓練などをやりました。

放水訓練や空気呼吸器着装訓練などをやった笹島綾人くんは、職員の話を聞き、そして、ほかの三人と楽しく訓練をやっていました。

綾人くんは、「将来は、人をたくさん助けることのできる消防士になりたいです」と話してくれました。



## ひだまり荘



ひだまり荘では、四人の皆さんが職場体験を行いました。そこでは、お年寄りの方々と指の運動をしたり、ゲームをしたりしていました。

そのなかで、ドライヤーでお年寄りの髪の毛を乾かしていた長井瑠香さんは、「介護の仕事に興味がありました。お年寄りが笑顔でお話してくれると、とてもうれしいです」と話していました。

## 鮫川小学校

鮫川小学校では、四人の皆さんが職場体験を行いました。

三年生の授業では、湯坐彩香さんが、パソコンを使った授業でやさしそうにパソコンの使い方などを教えていました。

彩香さんは、「小学校のころの先生のようになりたくてここへきました。将来は生徒のことがよくわかる先生になりたいです」と笑顔で話していました。



# 夢への第一歩

中学生の職場体験

## 学校給食センター

給食センターでは、四人の皆さんが献立作りや給食を作る手伝いをしていました。

そのなかで、給食のすいとんを作っていた薄井歩さんと緑川春香さんは、「作る給食の量は多いですが、その割に人が少ないのでたくさん仕事があって大変です。すいとん作りは大変ですが、とても楽しいです」とうれしそうに話してくれました。



## まどか美容室



まどか美容室では、前田晃里さんと吉田咲さんが体験学習を行いました。マネキンを使って、カットやパーマの練習をしていました。

そのなかで吉田咲さんは、「美容師は将来の夢の一つです。もし美容師になったら真弓さんのようになりたいです」と話してくれました。

二人は、真弓さんが驚くほど上達が早かったです。

## 手・まめ・館




手・まめ・館には、四名の皆さんが職場体験へ行きました。ここで、お店でやるいろんな仕事の体験をしました。

二人で「きな粉」の袋詰めとシール貼りをしていた土手内那月くんと三瓶鴻太くんは、楽しそうに職員と話しながら仕事をしていました。

二人は、「将来の夢は、明るい店員さんになることです」と話してくれました。

## 編集後記



藤田　樹

今回は役場の広報づくりで、取材や写真撮影、記事作成などの貴重な体験をさせていただきました。この体験をするまでは、本を何気なくとしか思っていませんでした。でも、やってみると、どれも楽しいながらも大変な仕事で、僕たちの読んでいる本は、こういうことがあってできているということが改めてわかりました。今後にも、この経験を生かしていけたらなと思います。今回は、本当にありがとうございました。



青戸悠之介

はじめ取材をやらせてもらうことになったときは、意外に簡単なんじゃないのかと思いました。でもいざやってみると、写真を撮るのも難しかったし、インタビューも内容を考えたり、どんな質問がいいか考えたりするのがとても大変でした。大変だけど、いい写真が撮れたときやいい記事を書けたときなどはとてもうれしいです。この経験を将来に生かせるようにしたいです。３日間、本当にありがとうございました。

お知らせします。

平成23年度決算報告

# 村の家計簿

村の平成23年度の決算がまとまり、9月下旬に行われた第5回村議会定例会で認定されました。村では、依然として厳しい財政運営を強いられる中、職員一人ひとりが創意・工夫を行い、少ない財源を効果的に活用しながら、「まめな暮らしを生かした村づくり」を基本理念とした第3次鮫川村振興計画に基づき、4つの基本政策を展開する事業を進めてきました。

平成23年度の決算額は、一般会計では歳入（収入）が41億3644万円、歳出（支出）が38億3328万円で差し引き3億316万円の黒字、特別会計の総額（8会計）では、歳入が13億2066万円、歳出が12億7022万円で差し引き5043万円の黒字となりました。

今月は、平成23年度決算のあらましをお知らせします。

一般会計 歳入

## 地方交付税など依存財源が全体の81％に

一般会計の歳入総額は、前年度と比較すると1億5806万円（4・0％）の増加となりました。これは、県支出金や諸収入、地方交付税などが増えたことによります。

歳入は、その調達方法により自主財源と依存財源の2つに分けられます。

自主財源の中で最も多いのは、22年度からの繰越金で、前年度に比べ4610万円（11・5％）減の3億5633万円となりました。これは、21年度から繰り越して国の臨時交付金などを活用した事業が22年度中に完了したためです。23年度への繰越額が多いのは、東日本大震災の発生により22年度中に事業が完了せず、23年度に繰り越して行われたためです。

続いて、みなさんに納めていただく村税が2億6946万円（前年度比788万円、3・0％増）となりました。これは、国の臨時交付金などを活用して実施したさまざまな事業により地域経済に一定の効果が見られ、法人村民税が増加したことなどによります。

次に、歳入全体の8割超となる依存財源では、実にその55％を地方交付税が占めています。23年度は、算定の基準となる人口の減少などにより普通交付税が少なくなったものの、東日本大震災からの復旧・復興のための震災復興特別交付税が創設されたことなどにより、交付税全体で22年度より1億6675万円（9・9％）増の18億5909万円が交付されました。

また、大規模な事業を実施する場合は、国や県からの補助金を活用して行いますが、国庫支出金は前年度に比べ1億4007万円（26・4％）減の3億8971万円、県支出金は前年度に比べ2億7399万円（69・8％）増の6億6669万円となりました。

県支出金の増は、福島県市町村復興支援交付金が2億2483万円交付されたことや、東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質対策関連の事業が多く行われたことなどによります。

村債は、前年度に比べ1億130万円（22・8％）減の3億4340万円となり、23年度に実施したさまざまな事業に充てられました。

一般会計 歳出

## 目的別では災害復旧費、商工費が大幅な増

歳出は、全体で38億3328万円（前年度比2億1123万円、5・8％増）となりました。

性質別では、普通建設事業費が前年度より2億1853万円（20・7％）減の8億3778万円で最も多く、人件費の6億4490万円（前年度比2670万円、4・3％増）、補助費等の4億2302万円（前年度比2612万円、6・6％増）と続きます。普通建設事業費が減少したのは、国の臨時交付金や補助金を活用し21年度から繰り越して実施してきた大規模事業が22年度に完了したためです。また、震災により被災した村道やひだまり荘、ほっとはうす、鹿角平観光牧場、鮫川中学校などの災害復旧事業が行われたため、災害復旧費は22年度に比べて2億232万円の増となりました。

次に、目的別では、村民保養施設建設事業などにより民生費が8億556

【用語解説】■自主財源…村税（村県民税や固定資産税など村の税金）や使用料（保育料や住宅使用料など）、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金。■依存財源…地方交付税や国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金。■地方交付税…すべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の2つからなる。■繰入金…各種基金から繰り入れるお金。■村債（地方債）…道路改良や住宅建設、水道整備などのさまざまな事業を行うために長期間借り入れるお金。

## ■会計別決算の状況

| 会計別 | | 歳入総額 | 歳出総額 | 差引額 |
|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 41億3,644万円 | 38億3,328万円 | 3億316万円 |
| 特別会計 | | 13億2,066万円 | 12億7,022万円 | 5,043万円 |
| 国民健康保険 | 事業勘定 | 4億9,054万円 | 4億6,281万円 | 2,773万円 |
| | 直診勘定 | 8,586万円 | 7,811万円 | 775万円 |
| 簡易水道事業 | | 1億2,164万円 | 1億1,994万円 | 170万円 |
| 村営バス事業 | | 914万円 | 873万円 | 41万円 |
| 集落排水事業 | | 3,348万円 | 3,240万円 | 108万円 |
| 介護保険 | | 4億666万円 | 3億9,915万円 | 751万円 |
| 交流施設 | | 1,223万円 | 984万円 | 239万円 |
| 学校給食センター | | 1億2,653万円 | 1億2,483万円 | 170万円 |
| 後期高齢者医療 | | 3,457万円 | 3,441万円 | 16万円 |
| 決算総額 | | 54億5,710万円 | 51億350万円 | 3億5,360万円 |

## ■歳入決算の状況（一般会計）

| 会計別 | 決算額 | 構成比(%) | 対前年度比 | 伸び率(%) |
|---|---|---|---|---|
| 自主財源 | 7億8,455万円 | 19.0 | △3,623万円 | △4.4 |
| 繰越金 | 3億5,633万円 | 8.6 | △4,610万円 | △11.5 |
| 村税 | 2億6,946万円 | 6.5 | 788万円 | 3.0 |
| 繰入金 | 5,841万円 | 1.4 | △1,484万円 | △20.3 |
| 諸収入 | 4,824万円 | 1.2 | 1,672万円 | 53.0 |
| その他① | 5,211万円 | 1.3 | 11万円 | 0.2 |
| 依存財源 | 33億5,189万円 | 81.0 | 1億9,429万円 | 6.2 |
| 地方交付税 | 18億5,909万円 | 44.9 | 1億6,675万円 | 9.9 |
| 県支出金 | 6億6,669万円 | 16.1 | 2億7,399万円 | 69.8 |
| 国庫支出金 | 3億8,971万円 | 9.4 | △1億4,007万円 | △26.4 |
| 村債 | 3億4,340万円 | 8.3 | △1億130万円 | △22.8 |
| その他② | 9,300万円 | 2.2 | △508万円 | △5.2 |
| 計 | 41億3,644万円 | 100.0 | 1億5,806万円 | 4.0 |

※その他①＝使用料手数料、分担金・負担金、財産収入、寄附金／その他②＝地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

## ■性質別歳出決算の状況（一般会計）

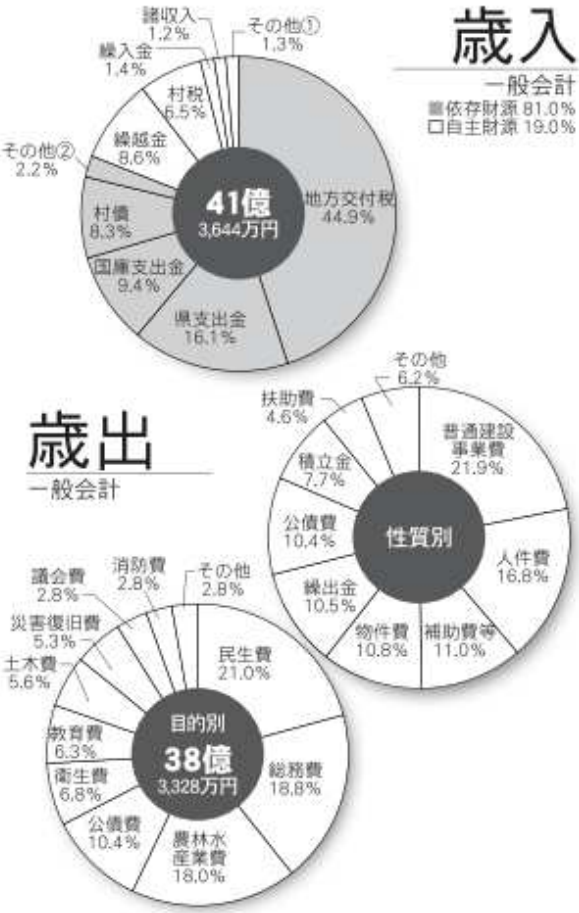
| 区分 | 決算額 | 構成比(%) | 対前年度比 | 伸び率(%) |
|---|---|---|---|---|
| 普通建設事業費 | 8億3,778万円 | 21.9 | △2億1,853万円 | △20.7 |
| 人件費 | 6億4,490万円 | 16.8 | 2,670万円 | 4.3 |
| 補助費等 | 4億2,302万円 | 11.0 | 2,612万円 | 6.6 |
| 物件費 | 4億1,475万円 | 10.8 | 2,032万円 | 5.2 |
| 繰出金 | 4億133万円 | 10.5 | 5,241万円 | 15.0 |
| 債費 | 3億9,925万円 | 10.4 | 2,819万円 | 7.6 |
| 積立金 | 2億9,689万円 | 7.7 | 5,234万円 | 21.4 |
| 扶助費 | 1億7,729万円 | 4.6 | 683万円 | 4.0 |
| その他 | 2億3,807万円 | 6.2 | 2億1,685万円 | 1,021.9 |
| 計 | 38億3,328万円 | 100.0 | 2億1,123万円 | 5.8 |

※その他＝災害復旧費、維持補修費、投資及び出資金貸付金

## ■目的別歳出決算の状況（一般会計）

| 区分 | 決算額 | 構成比(%) | 対前年度比 | 伸び率(%) |
|---|---|---|---|---|
| 民生費 | 8億556万円 | 21.0 | 4億1,382万円 | 105.6 |
| 総務費 | 7億2,067万円 | 18.8 | △2億8,024万円 | △28.0 |
| 農林水産業費 | 6億8,931万円 | 18.0 | 2億659万円 | 42.8 |
| 公債費 | 3億9,925万円 | 10.4 | 2,819万円 | 7.6 |
| 衛生費 | 2億6,010万円 | 6.8 | △361万円 | △1.4 |
| 教育費 | 2億4,031万円 | 6.3 | △4億7,682万円 | △66.5 |
| 土木費 | 2億1,361万円 | 5.6 | 7,366万円 | 52.6 |
| 災害復旧費 | 2億236万円 | 5.3 | 2億232万円 | 505,800 |
| 消防費 | 1億2,946万円 | 3.4 | 82万円 | 0.6 |
| 議会費 | 6,353万円 | 1.7 | 1,673万円 | 35.7 |
| その他 | 1億912万円 | 2.8 | 2,977万円 | 37.5 |
| 計 | 38億3,328万円 | 100.0 | 2億1,123万円 | 5.8 |

※その他＝労働費、商工費




**特別会計**

**8会計合わせて歳出は約12億円で決算**

万（前年度比4億1382万円、105・6%増）となり、全体の21・0%を占めました。次いで、総務費が前年度比2億8024万円（28・0%）減の7億2067万円、農林水産業費が前年度比2億659万円（42・8%）増の6億8931万円となりました。

23年度は、22年度に廃止された老人保健を除き、国民健康保険（事業勘定、直診勘定）、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センター、後期高齢者医療の8つの会計で事業を行い、決算総額は歳入が13億2066万円（前年度比2852万円、2・2%増）、歳出が12億7022万円（前年度比3417万円、2・7%増）となりました。特別会計の中で前年度と比べ増減が大きかったのは簡易水道事業で、これは落戸地区の給水施設整備事業を実施したことによります。

【用語解説】■人件費…職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われるお金。■普通建設事業費…道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使われるお金。■補助費等…各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使われるお金。■物件費…委託料や消耗品、備品の購入などに使われるお金。■公債費…村債の元利償還金。■繰出金…一般会計から特別会計へ繰り出すお金。■扶助費…高齢者や障害者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使われるお金。■維持補修費…道路や公共施設などの補修に使われるお金。

# 使いみち

第３次鮫川村振興計画
## 【まめな暮らしを生かした村づくり】

H23 決算

第３次鮫川村振興計画および鮫川村復興計画に基づく各分野のお金の使いみちをお知らせします。









▶①合宿受け入れや村民の健康づくりに利用されている鹿角平クロスカントリーコース▶②村内に順次設置されている移動通信用鉄塔▶③高齢者の介護予防のための筋力づくり教室▶④老朽化していた村営住宅は建て替えられ、定住促進を図っている

### ＜復興ビジョン＞

## 安心してくらせる心通い合う地域の復興

東日本大震災による地震被害および
放射能の影響を克服し、より魅力的な村を創る

**①災害復旧**

- ●公共土木施設災害復旧事業(村道) 5,495万円
- ●農業施設災害復旧事業(農地) 172万円
- ●林業施設災害復旧事業(林道) 2,000万円
- ●公立学校施設災害復旧事業(小・中学校) 8,537万円
- ●体育施設災害復旧事業(村民体育館、トレセンなど) 480万円
- ●その他の公共施設・公用施設災害復旧事業(交流施設、鹿角平観光牧場など) 1,364万円
- ●民生施設災害復旧事業(ひだまり荘) 965万円

**②村民の健康、くらしを守る**

- ●福島県線量計等緊急整備支援事業 635万円
- ●線量低減化活動支援事業 210万円
- ●自家用水道復旧支援補助金 381万円
- ●地震災害被災者住宅再建支援補助事業(平成23年度支出分) 847万円

### Vision2 ＜農村の環境ビジョン＞

## 農村の景観の維持と活用を「まめ」な暮らしで

自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

**①道路網・道路環境の整備**

- ●ふるさと林道事業(林道酒垂宝木線) 1,332万円
- ●路網整備事業(作業道中沢草木線) 4,142万円
- ●村道・橋梁維持管理事業(除雪作業、道路環境美化、維持補修工事、日陰林伐採、原材料支給など) 2,266万円
- ●村道新設改良事業(馬場後田中線、内ヶ竜滝ノ下線、遠ヶ竜戸草線) 3,745万円
- ●県単林道整備事業(林道上大塩見渡線) 616万円

**④水環境・環境の保全と再生**

- ●簡易水道運営事業(簡易水道特別会計繰出金) 4,205万円

**⑤水を大切にし、環境に配慮した排水の処理**

- ●浄化槽設置整備事業(合併処理浄化槽10基設置)445万円
- ●集落排水運営事業(集落排水事業特別会計繰出金)2,127万円

**⑥その他**

- ●東白衛生組合・東白斎苑負担金 445万円

### Vision1 ＜農村の再生ビジョン＞

## 地域資源の活用を「まめ」に

独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、
心豊かに暮らし続けられる村の実現

**①環境と健康を食べる**

- ●農産物加工・直売所運営事業(施設管理、運営費補助など) 2,051万円
- ●まめで達者な村づくりプロジェクト事業(アイディア料理コンテスト、花まめコンテスト、郷土料理を楽しむ会開催など) 50万円

**②農村の景観と文化を生かす**

- ●中山間地域等直接支払交付金・推進事業 1億625万円
- ●交流施設運営(交流施設特別会計繰出金) 755万円
- ●森林環境税交付金事業(森林整備計画策定、小・中学校森林環境学習推進、薪ストーブ購入など) 354万円
- ●緑のふるさと協力隊受入事業 186万円
- ●グリーン・ツーリズム推進事業(農村体験交流事業、里山景観保全活動) 47万円
- ●大学連携試験研究施設整備事業 1,389万円
- ●薪ステーション整備事業 1,295万円
- ●農村交流施設(山王の里)管理委託 58万円

Vision4 ＜農村の人づくりと産業ビジョン＞

## 人づくりと地域産業の育成を「まめ」に

地域から世界を見ることができる人材を育成し、
消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

### ①学校教育の充実

- ●公立学校等校舎内緊急環境改善事業(天井取付扇回収) 140万円

### ②生涯学習の充実

- ●公民館施設整備事業(トイレブース入替工事,高圧受変電設置) 976万円
- ●村民運動場トイレ設置工事 572万円
- ●富田村民体育館屋根塗装工事 442万円

### ③安心安全、顔の見える農業の振興

- ●地域バイオマス利活用交付金事業(豊かな土づくりセンター第2期建築工事,車両及び機械整備費平成23年度支出分) 9,050万円
- ●水田作付条件整備事業(暗渠配水補助) 198万円
- ●有害鳥獣駆除 22万円

### ④ふるさとの森を守り育てる

- ●森林整備加速化・林業再生基金事業(森林病害虫防除伐倒駆除,不用木除去) 370万円

### ⑤商工業の振興、雇用機会の確保

- ●緊急雇用基金創出基金事業(村道支障木・日陰林伐採事業、村管理地周辺整備事業、村臨時職員雇用ほか) 1,464万円
- ●ふるさと雇用再生特別基金事業(新加工品・自主製品販売促進活動業務,有機農業推進・6次産業振興業務ほか) 2,296万円
- ●商工業振興事業(商工会への補助金) 636万円

### ⑥村の特徴を活かした観光

- ●観光振興事業(うまいもの祭り補助金,江竜田農村公園管理など) 211万円
- ●クロスカントリーコース整備事業 3,772万円

### ⑦その他

- ●議会活動費 6,352万円
- ●鮫川村議会議員一般選挙 139万円
- ●地方振興費(各行政区長等報酬,行政区への補助金など) 1,470万円
- ●地籍調査事業(大戸中第３地区、第４地区) 435万円
- ●公債費償還(借入金返済) 3億9,925万円



良質な堆肥やバイオディーゼル燃料を製造し、バイオマス利活用の拠点となる豊かな土づくりセンター

Vision3 ＜農村の暮らしビジョン＞

## 生活安心を「まめ」な協力で

みんなが安心して生活できる村の実現

### ①安心生活ができる公共交通づくり

- ●地方バス路線維持対策事業(福島交通バス補助金２路線,村営バス特別会計繰出金) 1,455万円
- ●村生活路線バス維持通学定期運賃補助事業 98万円

### ②安心生活を支える情報

- ●携帯電話エリア整備事業(前折戸地内) 5,504万円

### ③多様な暮らしの工夫

- ●公営住宅建替事業(広畑団地) 1億63万円

### ④火災と災害への備え

- ●広域消防運営費(白河地方広域圏負担金) 7,404万円
- ●非常備消防費(消防団員報酬,公務災害補償など) 3,041万円
- ●消防施設整備事業(小型動力ポンプ積載車2台ほか) 1,073万円
- ●福島県総合情報ネットワークシステム更新事業 565万円

### ⑤安心安全の地域づくり

- ●交通安全・防犯対策事業 248万円

### ⑥安心生活ができる保険・医療・福祉の充実

- ●村民保養施設整備事業(平成23年度支出分) 2億2,466万円
- ●住民健康診査事業(健診業務委託など) 1,199万円
- ●予防接種事業(インフルエンザ予防接種など) 683万円

### ⑦安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実

- ●社会福祉協議会活動費(社会福祉活動,心配ごと相談) 2,270万円
- ●地域支え合い体制づくり助成事業 748万円
- ●在宅要介護高齢者紙おむつ給付事業 152万円
- ●在宅高齢者お助け事業 582万円
- ●筋力づくり教室 272万円

### ⑧子育て支援体制づくり

- ●こどもセンター運営事業(施設管理,通園対策,子育て支援保育園・幼稚園運営) 1億3,936万円
- ●子ども手当 6,801万円
- ●乳幼児医療費助成事業 1,394万円
- ●乳幼児紙おむつ給付事業 334万円
- ●出産祝金支給事業(50,000円) 162万円

### ⑨障害者の支援体制づくり

- ●障害者福祉事業(障害者自立支援給付費扶助) 6,495万円
- ●重度心身障害者支援事業(重度心身障害者医療費) 686万円

**村民１人あたりに使われるお金は946,256円（前年度比67,757円増）です。**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 民生費 | 高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金 | 198,854円 (24,919円増) | 教育費 | 学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金 | 59,321円 (35,693円減) |
| 総務費 | 選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金 | 177,903円 (64,859円減) | 土木費 | 道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金 | 52,729円 (18,784円増) |
| 農林水産業費 | 農林業の振興や農林道の整備などのためのお金 | 170,158円 (53,079円増) | 災害復旧費 | 公共施設などの災害復旧のためのお金 | 49,952円 (49,941円増) |
| 公債費 | 地方債（村の借入金）を返済するためのお金 | 98,557円 (8,559円増) | 消防費 | 消防施設の整備や消防団活動のためのお金 | 31,957円 (755円増) |
| 衛生費 | 保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金 | 64,207円 (246円増) | その他 | 村議会運営や商工業の振興、失業対策などのためのお金 | 42,617円 (23,362円増) |

※一般会計のみ。H24.3.31 現在の人口 4,051 人で計算。

## 2年連続で20名以下 このままでは募集停止

今年度で、修明高等学校鮫川校（以下、「鮫川校」と表記）の入学者数が二年連続で募集定員の二分の一以下となっている状況です。さらに、平成二十五年度の入学者数が募集定員の二分の一以下となった場合、平成二十六年度以降の募集を停止することとなり、三年後には閉校となります。

これは県教育委員会（以下、「県教委」と表記）が策定した県立高等学校改革計画（平成十一年三月策定）によって、一学年一学級規模の分校において、入学者数が募集定員の二分の一以下の状態が三年続いた場合、その地域の進学を希望する生徒にとって通学可能な高等学校が近隣にあることなどを条件に、原則として生徒の募集を停止することが定められています。

## 創立64年を迎えた 地域に根差した学校

鮫川校は昭和二十三年に県立東白川農業高等学校定時制課程鮫川分校として設置されました。



# 修明高等学校鮫川校

CLOSE UP SAMEGAWA

# 存続の危機

それ以降、時代の流れとともに校舎移転や名称変更などを経て、今年で創立六十四年を迎え、卒業生は千五百名を超えます。

これまで、鮫川村の大自然や少人数クラスの特色を生かし、きめ細やかな指導、生徒一人一人の個性の伸長と基礎学力の定着を図ってきました。また、地元住民の指導を受けながら行ってきた大豆栽培やゲートボール大会、環境美化活動など地域との結びつきを重視した学校づくりに努めてきました。しかし、少子化やライフスタイルの変化による都市部への人口流出などから県内の生徒数も減少を続けています。県教委からは平成十五年度から平成二十四年度までの県南地区の中学校卒業者数が四百七名（約二〇％）減少しているとの報告がありました。また、平成三十三年度までにさらに二百七十一名（約一七％）減少する見込みとなっています。

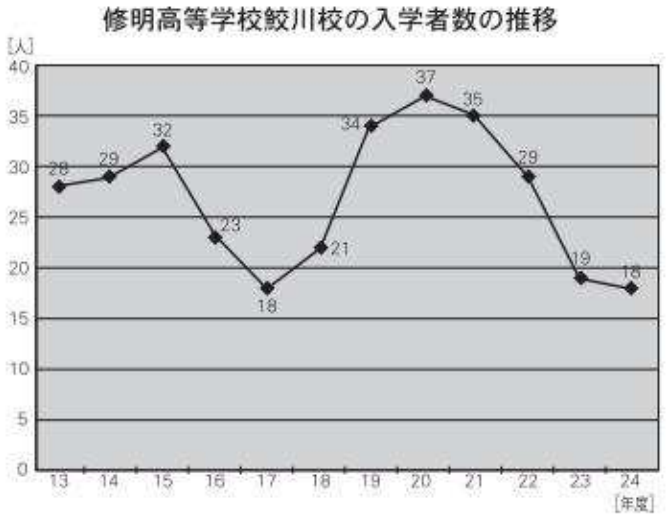
鮫川校においても例外ではありません。募集定員が四十名に対して入学者数は平成二十年度が三十七名、平成二十三年度が十九名、平成二十四年度が十八名となっています。

## 「廃校にしたくない」存続への強い思い

県教委は九月十二日、同校で高等学校改革懇談会を開きました。懇談会には、村や村教育関係者、有識者ら十名が出席。県教委の担当者が県内の高等学校設置状況や鮫川校の概要、入学者数の推移などを説明し、生徒減少に伴う高校改革の基本的な方向性などについて意見が交わされました。

懇談会の中で、鮫川校が募集停止となった場合、子どもの力だけで通える高校がほかにないことや村外からの入学希望者が多い実態などを訴えました。大樂村長は「本村にとって鮫川校はあって当たり前という感覚だった。存続の危機を迎えている状況に反省している。村民が鮫川校を大切に思い、誇りを持って通える学校にしたい」と話しました。また、同校同窓会の蛭田昌一会長は「なんとか定員の二分の一以上である二十名以上を確保して、鮫川校をすばらしい学校にしていきたい。廃校にはしたくない」と存続への強い思いを話しました。

第二回目の懇談会は十二月に行われる予定です。中学校卒業予定者の希望進路も明確になることで、より具体的な方向性や対策について意見交換をしていきます。さらに平成二十五年十月まで検討を重ね、生徒募集の決定をします。





地元住民の指導で大豆の種まきをする生徒


第一回高等学校改革懇談会の様子

## 村の財布の状態を見極める

# 財政健全化判断比率 資金不足比率をお知らせします

H23決算

地方公共団体の財政の健全化を目的に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、新しい財政指標の公表が平成19年度決算から義務付けられています。

この法律に基づき、地方公共団体は、毎年度４つの健全化判断比率（①実質赤字比率／②連結実質赤字比率／③実質公債費比率／④将来負担比率）および公営企業ごと（簡易水道・集落排水）の資金不足比率について、村監査委員の審査を受け、議会に報告し公表しなければならないこととされています。

平成23年度決算における財政指標は、次のとおりとなりましたのでお知らせします。

**●財政健全化判断比率**

| 指　標 | 鮫川村の指標 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|---|---|---|---|
| 実質赤字比率 | − | 15.0 % | 20.0 % |
| 連結実質赤字比率 | − | 20.0 % | 40.0 % |
| 実質公債費比率 | 9.3 % | 25.0 % | 35.0 % |
| 将来負担比率 | 0.4 % | 350.0 % | |

**●資金不足比率**

| 会　計　名 | 鮫川村の指標 | 経営健全化基準 |
|---|---|---|
| 簡易水道事業特別会計 | − | 20.0 % |
| 集落排水事業特別会計 | − | 20.0 % |

▶※１普通会計…公営事業会計（公営企業のほか国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療）以外の会計を総合してまとめたもの。村では公営事業に該当しない３つの特別会計（村営バス事業、交流施設、学校給食センター）と一般会計を合わせ普通会計としている。▶※２標準財政規模…標準的な状態で、通常収入されるであろう経常的な一般財源（地方税や普通交付税など）の規模を示すもの。▶※３公営企業…村では簡易水道事業と集落排水事業の２つの特別会計が当てはまる。

## 財政健全化判断比率

### ①実質赤字比率

実質赤字比率とは、普通会計※１の赤字額の標準財政規模※２に対する比率で、この比率が15％以上になると「財政健全化計画」、20％以上になると「財政再生計画」の策定が求められ、地方債の借り入れも制限されます。

いずれの計画の策定の場合においても議会の議決と、国および県への報告、全国的な公表が必要とされています。

23年度決算では、該当となる会計の収支が黒字であったため、実質赤字比率は生じませんでした。

### ②連結実質赤字比率

連結実質赤字比率とは、全ての会計の赤字額の標準財政規模に対する比率で、この比率が20％以上になると「財政健全化計画」、40％以上になると「財政再生計画」の策定が求められ、地方債の借り入れも制限されます。

23年度決算では、全ての会計が黒字であったため、連結実質赤字比率は生じませんでした。

### ③実質公債費比率

実質公債費比率とは、普通会計が負担する地方債の償還金の標準財政規模に対する比率で、この比率が25％以上になると「財政健全化計画」、35％以上になると「財政再生計画」の策定が求められ、地方債の借り入れも制限されます。

23年度決算では、9・3％となり、前年度（10・3％）より1・0％改善されました。

### ④将来負担比率

将来負担比率とは、普通会計が将来負担すべき実質的な負債（地方債の償還金、退職手当支給予定額など）の標準財政規模に対する比率で、この比率が３５０％以上になると「財政健全化計画」を策定しなければなりません。

23年度決算では、０・４％となり、前年度（27・８％）より27・４％改善されました。

## 資金不足比率

資金不足比率は、公営企業※３の資金の不足額の程度を表し、この比率が20％以上になると「経営健全化計画」の策定が求められます。

23年度決算では、２つの会計ともに収支が黒字であったため、資金不足比率は生じませんでした。

国民年金

# 保険料の後納可能期間の延長

過去10年以内に国民年金保険料の納め忘れの期間がある方は、申し込みにより平成24年10月から平成27年9月までの3年間に限り、さかのぼって納めることができる期間が過去2年から10年に延長されます。※延長される10年とは、納める月前10年以内の期間

■**後納制度のメリット**　①将来受け取る年金額が増額します／②年金の受給資格が得られる可能性があります

■**対象となる方**　①20歳以上60歳未満の方…10年以内に納め忘れ期間（納付免除以外）や未加入期間のある方／②60歳以上65歳未満の方…①の期間のほかに任意加入中に納め忘れ期間のある方／③65歳以上の方…年金受給資格がなく、任意加入中の方

※老齢基礎年金を受給している方は申し込みできません

問　国民年金保険料専用ダイヤル☎0570-011-050

募集

# アイディア料理コンテスト

**募集内容**　「達者の味噌（米麹）」・「達者のしょうゆ」・「達者の大豆油」・「えごま油」のいずれかをベースとした「たれ」や「ドレッシング」でサラダや野菜スティックなどとの相性がよいもの　※応募者には、創作に必要な主原料・出品用容器を配付します

**応募資格**　鮫川村に在住または通勤・通学している方　※個人・団体は問いません

**募集期間**　10月10日（水）～29日（月）必着

**応募方法**　応募用紙に記入の上、役場企画調整課へ申し込んでください。電話・FAXでも受け付けています。

**出品および審査**　審査日の11月8日（木）に応募作品とそれに合わせる野菜などを盛り付けしたものを一緒に村公民館に持参してください。

問　村企画調整課☎49-3115

募集

# 鮫川村フォトコンテスト

**募集テーマ**　「鮫川村の四季を感じる風景」　※村内の美しい風景や農村景観、年中行事などを撮影したもので、季節感があり、カレンダー使用にふさわしいものを募集します

**作品受付期間**　11月1日（木）～12日（月）　※役場企画調整課に持参または郵送してください

**応募規格**　カラー四つ切（ワイド可）またはA4サイズの横版で、平成23年1月1日から平成24年11月12日までに撮影したもの

**応募条件**　①応募点数は1人3点までとし、入賞は1人1点とします。／②応募作品は、昨年以前の本コンテストおよび他のコンテストに応募されたものは除きます。

**その他**　入賞作品は各月ごとに決められ、鮫川村ふるさとの四季カレンダーや村ホームページ、各種パンフレットに使用します。

問　村企画調整課☎49-3115

募集

# 「花まめ」コンテスト

**募集内容**　村内の圃場で栽培された「花豆（紫花豆）」　※紫花豆以外のいんげん豆類も対象とします

**応募資格**　村内に在住している方

**募集期間**　10月10日（水）～29日（月）必着

**応募方法**　応募用紙に記入の上、役場企画調整課へ申し込んでください。電話・FAXでも受け付けています。応募者には、後日出品用の容器を配付します。

**出品および審査**　審査日の11月8日（木）までに審査用と展示用の2点を役場企画調整課に持ち込んでください。

問　村企画調整課☎49-3115



## 舘山公園ビオトープの整備進める
### 東京農大短期大学部「緑地工学実習」


ウッドデッキを製作する学生たち

東京農業大学短期大学部環境緑地学科の緑地工学実習は８月17日から23日までの７日間、村内で行われました。学生39名が参加し、地元住民や教授らの指導を受けながら、舘山公園内のビオトープにウッドデッキや階段を設置するなど、緑地工学を学びました。

## 間伐やパン作りを体験
### 大妻女子大学「グリーンツーリズム実習」


パン作りを体験する学生たち

大妻女子大学のグリーンツーリズム実習は９月３日から５日までの３日間、村内で行われました。実習には学生19名が参加。朝日山登山やうちわ作り、間伐などの林業体験、最終日には手まめ館喫茶店スタッフの指導を受けて天然酵母のパン作り体験をしました。

## 上位入賞を誓う
### ふくしま駅伝鮫川村チーム結団式


一人一人抱負を述べる選手たち

11月18日に開催される第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会に出場する鮫川村チームの結団式は９月13日、村公民館で行われました。選手や実行委員など約50名が出席。水野博和委員長が「昨年以上の成績を残せるように頑張りましょう」とあいさつしました。

## 華麗な演技を披露
### 県芸術祭開幕式典に村から２団体出演


観客を魅了した演技

県芸術文化団体連合会や県などが主催する「第51回福島県芸術祭」の開幕式典は９月２日、矢吹町文化センターで開かれました。式典には、村から「鮫川村スポーツ民踊愛好会」と「静山流静慧会詩舞鮫川教場」の２団体が出演し、練習の成果を披露しました。

## 村政TOPICS

除染

### 鹿角平牧草地 除染作業終わる


牧草地の除染作業

東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、福島県では牧草の利用自粛が続いている状況です。

村では、牧草の種をまく時期に合わせて、八月十日から村の牧草地のおよそ半分に当たる約七〇ヘクタールで除染作業を行い、九月十二日に作業が終了しました。除染作業は牧草地の表面の土と中の土を入れ替え、放射性物質を吸着するゼオライトという鉱物をまく方法で実施。また、農家の所得確保や雇用創出につなげるため、村が除染グループを募集し、村内の農家で組織された六グループが作業を実施しました。

牧草地の除染は、平成二十六年度まで実施する予定で

# ほっとニュース

## 788人の長寿を祝う
### 平成24年度村敬老会





上：記念品の贈呈を受ける招待者／右：アトラクションで一緒に踊る招待者

平成24年度鮫川村敬老会は９月15日、村農業者トレーニングセンターで開かれました。

今年は、満75歳以上の788名（男性295名、女性501名）を招待。村の最高齢は関根ミツさん（荻ノ沢）で満102歳です。

敬老会では、大樂村長が「幾多の困難を乗り越えて、地域振興にご尽力いただいた皆様に感謝を申し上げます」とあいさつし、米寿、80歳到達者、金婚夫婦に記念品を贈呈。来賓祝辞のあと、鮫川中３年の芳賀悠介さんと青生野小４年の棚井未有さん、鮫川小６年の矢吹瑞樹さんが高齢者に感謝する作文を朗読しました。

青戸学男村老人クラブ連合会長が謝辞を述べたあと、アトラクションが行われ、ふる里文化芸能クラブと村内７地区ごとに組織する高齢者支援団体が歌や踊りを披露し、楽しいひとときを過ごしました。

## むし歯のない子は８人
### ８月28日実施の３歳児健診

８月28日に村保健センターで実施した３歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児12人中８人でした。



三瓶ひなたちゃん
①赤坂東野字菜貫／②母・つかささん／③毎日、歯みがきを頑張りました。



中川西温基（はるき）くん
①赤坂西野字茅／②父・吉栄さん、母・美穂さん／③弟と一緒に毎日歯みがきを頑張りました。



根本 隆太（りゅうた）くん
①渡瀬字越虫／②父・隆さん、母・いづみさん／③毎日、寝る前の歯みがきを続けました。



鈴木 和花（のどか）ちゃん
①赤坂中野字新宿／②父・雄一さん、母・麻希子さん／③甘い物を控え、お茶などを勧めました。お風呂に入りながら歯みがきをして、上がったあとに仕上げ磨きをしました。



関根 はなちゃん
①西山字水口／②父・巨樹さん、母・涼佳さん／③毎日、歯みがきをしていますが、大半は泣きながら磨いています。本当に頑張って、泣いても諦めず最後までやり通しました。



佐藤 楓峨（ふうが）くん
①西山字押野／②父・潤一さん、母・香里さん／③歯みがき嫌いな時期もありましたが、今は上手に歯みがきができます。準音ちゃんのお手本になるように頑張ろうね。



鈴木 陽向（ひなた）ちゃん
①赤坂中野字東前田／②父・晴之さん、母・純子さん／③甘い物が大好きな陽向ですが、寝る前の歯みがきを一生懸命に頑張っています。



渡辺 美悠（みゆう）ちゃん
①赤坂中野字新宿／②父・智夫さん、母・明美さん／③毎日、自分で歯みがきをしました。仕上げ磨きも嫌がらずにできました。

①住所②保護者③むし歯にならないために頑張ったこと

## 村政TOPICS

### 安全 鼓笛パレードで交通安全呼びかけ

秋の全国交通安全運動期間中の九月二十一日、村交通安全対策協議会と交通安全協会鮫川支部共催の「交通安全鼓笛パレード」が行われました。

村内の交通関係団体のメンバーらが参加し、横断幕を先頭に青生野小と鮫川小児童鼓笛隊の演奏に合わせて村農業者トレーニングセンター内を行進し、見学に訪れた村民に交通安全を呼びかけました。



鼓笛パレードで演奏する児童たち

す。また、牧草地を含めた村内の除染に関しては、村で定めた鮫川村除染実施計画に基づいて実施します。

除染実施計画については村ホームページで確認することができます。

村民【随想】リレー ―171

# 高橋教子さん

## 宝物がいっぱい！



NORIKO TAKAHASHI

**たかはし・のりこ**●昭和40年11月生まれ。西山字押野在住。４年前に就農。趣味はガーデニングで、好きなことは料理。一瞬一瞬を楽しむことを日々心掛けている。

「みんないい顔してるね」夏休みに帰省した息子が手まめ館で生産者さんたちの写真を見てしみじみ言った。奥深い豊かな笑顔。作る人の優しさがつまっている農産物や加工品はどれも本物で美味しい。耳を澄ませば、朝・昼・夜、また、めぐる季節の中でさまざまな生きものたちが音の世界を奏でる。ここならではの癒しのエネルギー。幼かった子供たちと、夜空に輝く満天の星に歓声をあげ、チョウやカブトムシ、カマキリなど昆虫たちの脱皮や羽化にも共に時間を忘れて目をみはることもあった。生命の神秘を感じる感動の瞬間である。村に向かう坂の途中で風が心地よくなる。世界が変わる感じ。中学生のころは村の看板から道路が狭くなるとしか思えなかったのに、人間の感覚とは不思議なものだ。鮫川で生まれ育って、離れて、戻ってきた。北海道へ嫁ぎ、夫の仕事の関係で青森、岩手、宮城、横浜などで生活したがどこも「住めば都」だった。その間、家族で時折訪れた鮫川は「住みたい所」となった。移住して四年目になる。二人の息子たちは二、三年暮らし、今はそれぞれの夢に向ってこの地を離れているが、幼少期からいただいたエネルギーは彼らの生きる原動力となるだろう。

豊かな笑顔に優しさ溢れる人々とのつながり、見るもの・聞くもの・感じる風・食べるもの・ゆっくり流れる時間、全てが私たちを応援してくれる。不都合で手のうちようのない自然の厳しさもまたその中で生かされている自分に気付かせてくれる。言葉に尽くせない多くの宝物、奇跡の恵みをたくさんいただいている。世界一幸せな国といわれるブータン王国にも負けない、世界一幸せな村・鮫川がここにある。と勝手に思っている。感謝して、今日も乾杯！

次は、芳賀勝美さん（赤坂東野字戸草）にバトンタッチ！

### 俳句

金婚の朝のすずめや騒がしく　中井　恒峯
田に立てる案山子までもが流行着　松本　精一
雨乞いも天地に通じず雷鳴のみ　北條素人坂
共食いのシリア戦争羽抜鳥　黒田　寿香
猛暑続き脳味噌機能停止中　鈴木　米子
砂すくう球児の涙黒光り　斎須　信子
秋風や押し流されて行く絆　小松ハル工
再稼働義歯のはぎしりつくつく法師　土　竜庵
カブトムシ宅急便の荷に入れる　山本　恵子
子螳螂の斧ふりかざす親に似て　前田　縫子
道路工事の騒音の中八月果つ　山本五十鈴

### 短歌

今一度元気になりたいと願う朝病棟の窓に　一筋の光　坂本　雪絵
岩の間に伸びし紅葉の色冴えて露天の風呂は絵の模様なす　鈴木イミ子
雑草を除る身に何を思うかや羽音を立てて蚊のまつわり来　前田　初
曾孫は今日爺婆の家を訪ね来ぬ小遣いやればアリガトウという　佐藤　春枝
幸せの文字を探せば花影にほのとかがよう光りを見たり　須藤　幸子
何よりの栄養剤か朝採りの野菜を籠に満たして帰る　水野　珠子
人の生分からぬものと説く人のめつきり痩せしその二の腕は　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い4

# 子どもたちに絵本に親しんでほしい



## おはなしポケット

須藤幸子代表／会員５名

おはなしポケットは、平成十六年に設立し、絵本が好きな人たちがボランティアで読み聞かせを行っています。鮫川小、中学校での読み聞かせや親子読書教室、おはなしの森などの活動を通して、子どもたちに絵本や本に親しんでほしいと考えています。

ボランティアで参加している人たちは、子育ての中で母親が子どもに絵本を読み聞かせるような気持ちで活動していると話します。子どもたちの反応も集中して見て、聴いています。読み聞かせを通して、子どもたちの聴く態度が養われる手助けをしています。

絵本は、小さい子どもだけが読むものと思っている人が多くいると思います。しかし、絵本は年代を越えて楽しめるもので、その年代によって受け取り方が変わるところが魅力のひとつです。

# Book

**図書の缶詰**
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館（村歴史民俗資料館内）
☎49-3106

**癒しの禅語**
（片岡鶴太郎著、佼成出版社）



多方面に活躍する片岡鶴太郎が心惹かれる30の禅語を紹介。自身の体験を通して感じたままを綴り、禅語のなかにある「こころ」を探る一冊です。

**ことりのうち**
（さとうわきこ著、福音館書店）



自然の中でいつも奇想天外なことを始めるばばあちゃん。「ことりのうちをいっぱいつくろう！」やってきたのは大きくてへんてこな鳥。そこで…。おひるねも大好きなばばあちゃんです。

第３土曜日は 家族一緒に読書の日

未だ生きる力をためて蝉一つ　茄子
の葉陰に宿りていたり　溝井　清乃
疎んじて暮らすにあらず人生の峠
と思う齢にやすむ　坂本　伊紀
領土裁判応じぬ韓国に弱味あり
じゃんじゃん絆せその不正さを　一平　子
新盆の済みて送りし遥かなる天国
の夫の安らぎ祈る　石井　幸子
我がからだ思うに任せぬ生活の続
きて今は施設が頼り　杉山　磯子
庭先の朝顔の花咲き競い今日も元
気にと応援するがに　須藤シツエ
戻らない戻りたくない戻れない汚
染が拒む放射能故に　松本　一郎
風評の風は何処吹く知らぬげに稲
は元気に穂波を揺らす　前田喜三子
梅雨晴れの湖畔に並ぶヴィラホテ
ル湖面に映る影揺らめきぬ　藤田千代子
子がくれし紀州の梅干暑気払う病
知らずに此の夏越せり　関根ハナヨ
盆供養すむも残暑の日盛りに波打
つ稲田を見回り笑みぬ　関根　富久
蜩の鳴く声せわし草叢にそっと
寄り聞く残暑の夕べ　鷲野谷　満
妻今日もグランドゴルフにステック
振るホールインワンに誇る顔見せ　板橋　源良
子や孫と迎え火を焚くやわらかき
菓の灯に夫の顕ちくる　関根キヌ子
猛暑日の記録を連続ぬり返る吾が
体温も気温との背比べ　矢吹　一二
猛暑日の続く峡田はこともなく豊
穣迎える稲穂はなびく　北條　平

むらの
# 名人・達人
Vol. 3

絵手紙名人
## 鈴木米子さん
すずき・よねこ／赤坂中野字新宿在住

# 絵手紙は誰でも気軽にできるもの 気持ちを込めて描くことが大切



自宅には、長年描きためた絵手紙などがたくさん飾られています

「絵手紙は絵のうまい、下手は関係なく、受け取った人に元気や感謝の気持ちを伝えることが大切」と話す鈴木米子さん（66）。文字だけではなく少し絵が添えてあるだけで受け取った人の心を温かくします。

退職後に、もともと絵が好きだったこともありボケ防止にでもなればと絵手紙を始めたという米子さん。独学で描き始め、現在では社会学級などの公民館事業やグリーンツーリズム体験などで指導を依頼されます。

米子さんは野花を多く描きます。それは、数が減りつつある野花を書き留めておきたいという思いからです。そのため、その花が持つ色などの特徴を本物に近づけるように、野花の素朴な優しさを表現するように心がけて描きます。

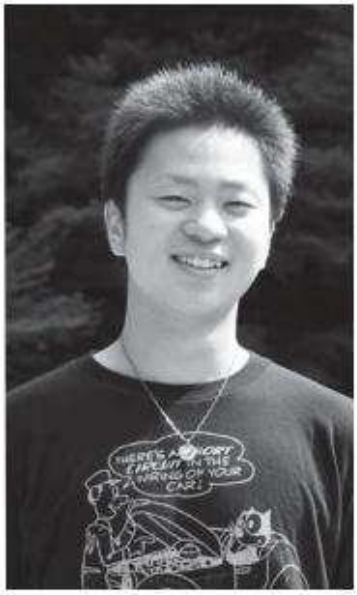
絵手紙は、誰でも気軽に始められるところが魅力のひとつと米子さんは話します。基本の色づかいなどを覚えてしまえば、誰でも簡単に描き始めることができます。画材や題材、描き方も個性を出して自由に描いてみてほしいと言います。受け取る人のことを考えて気持ちを込めることが喜ばれる絵手紙を描く秘けつだと教えてくれました。


モニターツアーの参加者にうちわの絵付けを指導する米子さん

若者の広場　№.94

# Young Plaza

## 湯座勇太さん



ゆざ・ゆうた
平成2年7月27日生まれ　22歳
A型　しし座
趣味はスケートボード、ゴルフ
赤坂中野字真坂在住

### 今しかできないことに挑戦したい

**■今、夢中になっているものは何ですか？**

高校のときからスケートボードをやっています。最近は、地元の友達と集まって練習しています。

**■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？**

自動車整備士の仕事をしていますが、お客様の命に関わる事もあるのでしっかりと責任を持って仕事をしていきたいです。あとは、遊びでも趣味でも若いうちにしかできないことにチャレンジしてみたいです。

**■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？**

鮫川村は本当にほのぼのしているなと感じます。村外で一人暮らしをしていた時期もあったので、余計に感じますね。

**■これからの鮫川村に望むことはありますか？**

商店街を見ても閉店した店が多く、買い物をできるところが少ないですね。閉店した店もそのままになっていて、さらに寂しい感じがします。以前のようににぎやかな商店街になってほしいです。

■

次は蛭田光さん（渡瀬字上耕地在住）の予定です。

# 学校だより

(96)

鮫川中学校編

## 総合職場体験学習

九月十一日から十三日の三日間、総合職場体験を行いました。

一年生は「地域・伝統・文化」について学習し、鮫川源流探検や江竜田の滝散策、朝日山登山を行いました。

二年生は「職場体験学習」で村内の各事業所で体験し職業観、勤労観を深めることができました。

三年生は「次世代交流ふれあい体験」で鮫川たんぽぽの家で、障がい者との関わりを深めることができました。

地域や事業所に対する理解を深め、地元への愛着や誇りを持つことができました。ご協力くださった方々に感謝申し上げます。










## 校地がきれいになりました！

九月八日に第二回目のPTA親子奉仕作業が行われました。全地区の保護者の皆様と子どもたちが中心となり、作業を行いました。天候にも恵まれ、親子で一緒に気持ち良い汗を流すことができ、校地も見違えるほどきれいになりました。ご協力ありがとうございました。



PTA親子奉仕作業

## 県大会出場おめでとう

### 特設合唱部

八月二十九日に東白川小中学校音楽祭が行われ、見事、最優秀賞を獲得し県大会出場を果たしました。県大会は、九月六日に須賀川市文化センターで行われました。合唱王国福島県の各中学校との響き合いの中、銅賞ではありましたが、鮫川中学校のハーモニーを声高らかに披露してくれました。

（文・写真／鮫川中学校）

# 情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

## 保健・福祉

### 子宮頸がん・骨粗しょう症検診のお知らせ

**実施日**　10月29日（月）
**場所**　村保健センター
**受付時間**　①午前8時30分～午前9時30分／②午後1時～午後1時30分
**対象地区**　①赤坂東野・石井草、富田、渡瀬、青生野／②赤坂西野、西山、赤坂中野
**対象者**　▼子宮頸がん検診…20～80歳の女性▼骨粗しょう症検診…30～80歳の女性
**料金**　20～74歳…500円／75歳～80歳…無料※無料クーポン券対象の方は、受診の際に必ずクーポン券を持参して受診してください。
**持参物**　受診録（必要事項を記入して持参してください）
**その他**　4月に子宮頸がん検診を希望した方に受診録を配布します。これから検診を希望する方は、役場住民福祉課健康係までご連絡ください。
問　村住民福祉課健康係☎49-3112

### 献血にご協力ください

**実施日**　10月16日（火）
**場所・時間**　村農産物加工・直売所「手・まめ・館」…午前9時30分～午後1時／役場前駐車場…午後2時30分～午後5時
問　村住民福祉課健康係☎49-3112

### C型肝炎ウイルスに感染した方への給付金

出産や手術における大量出血などの際に、特定の血液製剤を投与されたことによって、C型肝炎ウイルスに感染された方に、給付金を支給する仕組みがあります。申請手続きは平成25年1月15日までとなっています。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧になるか相談窓口へお問い合わせください。
問　相談窓口☎0120-509-002（平日午前9時半～午後6時）

## 8日は歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。
10月の担当は
**鮫川小学校**
**保健委員会（4年生）**
**水野谷雄大**さん
**田子　愛菜**さん
**藤田　桜花**さん
**藤田　蓮**さん



## 10月27日(土)～11月9日(金)は 読書週間

今年は「国民読書年」です。ご家族で「読書」に取り組んでみてはいかがでしょうか。

**《秋の夜長におすすめの本を紹介します》**



**親鸞　上・下**
（五木寛之著、講談社）
愚者か？悪人か？聖者か？地獄は一定と覚悟し真実を求めて時代の闇を疾走する青春群像。混迷と激動の時代を生き抜いた、新しき人間親鸞を描く長編小説。



**紙の月**
（角田光代著、角川春樹事務所）
銀行の契約社員・梅津梨花（41歳）が年下の大学生・光太と出会ったことで、金銭感覚と日常が少しずつ歪んでいく。そしてついに約1億円を横領する。スリリングで狂おしいまでに切実な長編小説。

## ■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

| | |
|---|---|
| 住民福祉課 | |
| 健康係 | 49-3112 |
| 住民係・福祉係 | 49-3113 |
| 農林課 | 49-3114 |
| 企画調整課 | 49-3115 |
| 地域整備課 | |
| 建設係 | 49-3116 |
| 環境係 | 49-3196 |
| 農業委員会 | 49-3197 |
| 議会事務局 | 49-3198 |
| 出納室 | 49-3199 |

【その他の機関】

| | |
|---|---|
| 教育委員会 | 49-3151 |
| 図書館（歴史民俗資料館内） | 49-3106 |
| 農業者トレーニングセンター | 49-3295 |
| 学校給食センター | 49-2113 |
| こどもセンター（保育園・幼稚園） | 29-1010 |
| 国保診療所 | 49-2028 |
| ほっとはうす・さめがわ | 48-2555 |
| 手・まめ・館 | 49-2556 |
| 山王の里 | 48-2848 |

## ■鮫川村公式ホームページ

http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

## ■今月の納税

村県民税：第3期
国民健康保険税：第5期
介護保険料：第5期
後期高齢者医療保険料：第3期
※納期限：10月31日(水)

# information

## 案内

### 心の健康セミナー「元気になる睡眠の話」

**日時**　10月22日（月）午後2時～午後4時
**場所**　白河市立図書館
**申し込み方法**　10月15日（月）までに役場住民福祉課にある申込書に記入の上、県南保健福祉事務所へ申し込んでください。
**その他**　どなたでも無料で参加できます。
問　県南保健福祉事務所障がい者支援チーム☎0248-22-1564

### 平成25年4月1日から119番の受け付け先が変わります

平成25年4月1日から白河消防本部通信指令センターが業務を開始します。業務が開始されると119番の受け付け先と出動が変わります。

現在、白河消防署・棚倉消防署・矢吹消防署で受け付けている119番は、今後、白河消防本部通信指令センターに入ります。119番を受け付けると、瞬時に通報場所が特定でき、一番近い緊急車両を自動選定し出動します。

地域の消防署、分署に通報するより時間が短縮され、場所も早く特定できます。迅速な消防、救急、救助活動が行われ、皆さんの安全、安心を守ることができますので、ご理解とご協力をお願いします。

問　白河地方広域市町村圏消防本部総務課通信司令準備室☎0248-22-2157

### 地域安全・安心 110番ステーション

東白川郡の安全・安心なまちづくりのため、棚倉警察署管内のガソリンスタンドを地域のミニ交番として、「地域安全・安心110番ステーション」を設置しています。村では、9月7日に鮫川運送に設置しました。

問　棚倉警察署☎33-0110

## 募集

### 第65回村文化祭 一般作品展作品募集

**対象**　村内在住者
**募集作品**　絵画・手芸・写真・陶芸・生け花・木工・竹細工など
**募集期間**　10月15日（月）～11月20日（火）　※ただし土日祝日は除きます。
**展示場所**　村公民館
**展示期間**　11月29日（木）～12月3日（月）午前9時～午後5時　※最終日3日は正午まで
**応募方法**　村公民館にある応募用紙に必要事項を記入の上、作品に添えて応募してください。
**搬入・搬出**　搬入…11月28日（水）午前10時～午後4時　※作品が大きいものや壊れやすいものなどは会場に直接搬入し、飾り付けをお願いします。
／搬出…12月3日（月）午後1時以降、会場から直接搬出してください。
問　村教育委員会教育課☎49-3151

---

◆◆◆いきいき健康通信◆◆◆

## 元気なうちから始める「介護予防」

Part_2

### ■生活不活発病の点検をしましょう

生活不活発病は予防し、回復させることができます。また早期発見によって、早い回復が見込めます。

発見のコツは、自分の日頃の生活を振り返ってみることです。「動かなくなっていないか」「動きにくくなっていないか」など昨年と比べてみましょう。

### ■生活改善のポイント

①毎日の生活に運動習慣

筋力の低下は、生活の質の低下につながります。自分のできそうな運動を習慣にして、生活不活発病を予防しましょう。

「歩くこと」「筋力アップ体操」を毎日の生活に取り入れることは、立つ、座る、階段の昇降などに必要な下半身の筋力を鍛えます。

②おいしく楽しくバランスよく食べる

活動的な生活には、たんぱく質とエネルギーが必要です。血中のたんぱく質の低下、体脂肪や体重の減少は、身体の老化を加速させ筋力や抵抗力が低下し病気を引き起こします。元気で長生きするためには、欠かせない栄養です。

③口の健康（食べる・話す・笑う）

しっかりかんで食べることは、脳を刺激し認知症を予防します。また、舌や頬などの筋肉を鍛えると、飲み込む力が高まり、食べ物を誤って気管に飲み込んで起こる誤嚥性肺炎を予防できます。毎日、お口の手入れとよくかんで食べることを習慣にしましょう。

### ■「元気にこにこ教室」に参加しましょう

村では「介護予防調査票」の結果で教室の参加対象者に連絡をしますので、該当になった方は積極的に参加しましょう。教室では、運動、口腔体操、食事などについて学べます。一人ではできないことも、周りの支えがあれば、楽しくできることもあります。詳しくは個別にご連絡します。

（文：村住民福祉課　鈴木保健師）

October
# 10

㊡＝休日当番医　[歴]＝歴史民俗資料館　[公]＝公民館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター
[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

| 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|
| **2**<br>◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] | **3**<br>◆送迎バス運行日（中野・東野方面）<br>●日常生活訓練事業（やまぶきの会）…10:00～15:00[保]<br>●おはなしの森…15:30～／鮫川小 | **4**<br>◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）<br>●村小学校合同修学旅行（会津方面） | **5**<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]<br>●やまゆり保育室[こ] | **6** |
| **9**<br>◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] | **10**<br>◆送迎バス運行日（中野・東野方面）<br>●乳がん検診<br>●やまゆり乳児室[こ]<br>●おはなしの森…15:30～／鮫川小 | **11**<br>◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） | **12**<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] | **13** |
| **16**<br>◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]<br>●献血 | **17**<br>◆送迎バス運行日（中野・東野方面）<br>●日常生活訓練事業（やまぶきの会）…10:00～15:00[保]<br>●おはなしの森…15:30～／鮫川小 | **18**<br>◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）<br>●保育参観デー[こ] | **19**<br>●心配ごと相談…13:00～15:00[公]<br>●保育参観デー[こ] | **20**<br>●保育参観デー[こ]<br>●壇の岡祭／鮫川中<br>*第3土曜日は家族一緒に読書の日* |
| **23**<br>◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] | **24**<br>◆送迎バス運行日（中野・東野方面）<br>●おはなしの森…15:30～／鮫川小 | **25**<br>◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] | **26** | **27** |
| **30**<br>◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] | **31**<br>◆送迎バス運行日（中野・東野方面）<br>●村県民税などの納期限<br>●おはなしの森…15:30～／鮫川小 | **11/1**<br>◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] | **2** | **3** *文化の日*<br>㊡ 塙厚生病院（塙町）☎43-1145<br>●第17回少年主張大会／第11回音楽発表会…9:00～[公] |
| **6**<br>◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] | **7**<br>◆送迎バス運行日（中野・東野方面）<br>●やまゆり保育室[こ]<br>●おはなしの森…15:30～／鮫川小<br>●ふくしま駅伝選手壮行会…19:00～[公] | **8**<br>◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）<br>●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]<br>*毎月8日は歯の日* | **9** | **10**<br>●親子遠足[こ] |

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

## おくやみ

8月届け出分・敬称略

| 住所 | 氏名 | 月日 | 年齢 |
|---|---|---|---|
| 摺合 | 芳賀 清一 | 8. 1 | 86歳 |
| 蔵ノ草 | 矢吹 テル | 8. 3 | 97歳 |
| 越虫 | 野内 喜一 | 8.16 | 69歳 |
| 菅ノ目 | 大竹 華子 | 8.18 | 84歳 |
| 遠ヶ竜 | 森 守 | 8.20 | 78歳 |

## 人の動き

9/1現在・（ ）は前月比

| | | |
|---|---|---|
| 人口 | 4,017人 | （－9） |
| 女 | 2,000人 | （－3） |
| 男 | 2,017人 | （－6） |
| 世帯 | 1,163戸 | （－1） |

## 寄付寄贈

8月受理分・敬称略

■社会福祉事業のために[金員]…芳賀貞夫(摺合)矢吹幸一(蔵ノ草)大竹徹(菅ノ目)野内旭(棚倉町)森良一(遠ヶ竜)

■各種支援事業のために[木製パズル]…坂本正雄(神奈川県)

■90歳の長寿を記念して(役場に)[草履]…矢吹啓(大塩)



※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

### ●編/集/後/記

■今月は役場で職場体験を行った中学生2人に表紙と特集4ページを担当してもらいました。取材から写真、レイアウトなど全てです。2人共、3日間という限られた日数の中で、一生懸命取り組んでくれました。その「学ぼう」という真面目さに刺激を受け、私にとって楽しい3日間となりました。(前田)

# 暮らしのカレンダー

| 日 | 月 |
|---|---|
| | 10/1<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●固定資産税などの納期限 |
| 7<br>㊡東館診療所(矢祭町)<br>☎46-3165<br>*第1日曜日は環境美化の日* | 8 *体育の日*<br>㊡大木医院(棚倉町)<br>☎33-2424<br>●図書館休館日<br>*毎月8日は歯の日* |
| 14<br>㊡金澤医院(矢祭町)<br>☎46-2312 | 15<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●3～4か月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 |
| 21<br>㊡東白川中央病院(棚倉町)<br>☎33-3263<br>●第25回高原の鮫川うまいもの祭り…9:50～／鹿角平観光牧場 | 22<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日 |
| 28<br>㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町)<br>☎33-9468<br>●さめっ子フェスティバル／鮫川小<br>●学習発表会、ふれあい集会／青生野小 | 29<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日<br>●子宮がん検診 |
| 4<br>㊡木村医院(矢祭町)<br>☎46-3528<br>*第1日曜日は環境美化の日* | 5<br>●図書館休館日<br>●トレセン休館日 |

10 October 2012
平成24年10月1日発行（毎月1日発行）
第702号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村地域創造課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5


結婚しました

# Happy Wedding File_02

## 水野 克哉さん 千郷さん

赤坂西野字大塩在住／平成24年9月挙式

- **奥様の出身地はどちらですか？**・・・青森県八戸市です。
- **２人が知り合ったきっかけは？**・・・以前勤めていた職場が同じで、職場内での飲み会などがきっかけです。
- **出会ったときのお互いの第一印象は？**・・・（夫→妻）笑顔がいいな。（妻→夫）東北訛りが強い人だな。
- **子どもは何人ほしいですか？**・・・男の子が１人いますが、あと女の子と男の子１人ずつほしいですね。
- **理想の家庭は？**・・・自分の子どもが結婚するとき、親と同居したいと思えるような家庭が理想です。

## こちら 村長室

**爾俸爾禄**
**民膏民脂**
**下民易虐**
**上天難欺**

▼「爾の俸爾の禄は、民の膏民の脂なり。下民は虐げ易きも、上天は欺き難し」▼旧二本松藩の「戒石銘碑」の碑文であります。「武士の給料は領民の苦労のたまものであり、農民をしいたげてはならない」と戒めています。▼根っからの商人だった自分が自治体の長になる。村づくりに大きな夢と希望、そして不安を抱えての挑戦でした。そんな時、自分を律するものとなったのが、この戒石銘の十六文字でした。行政を預かる者の規範として、自分を戒めるものとして、今もなお、思いおこす私の好きな詩です。▼昨年の東日本大震災により大きく後退した村づくり。鮫川村の気概と勇気で、除染問題や長期的な健康管理、風評被害対策などに取り組んで参りますので、村民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

大樂勝弘